

# 伊吹山

岐阜・滋賀県境

ぶらり  
ぎんご散歩

神代の昔、日本武尊（やまとたけのみか）は、伊吹山（標高1377㍎）に宿る荒ぶる神を退治しに山を登るが、その荒神は氷雨を降らせ、その道を阻んだと日本書紀にはある。数々の伝説が残る伊吹山は揖斐川町と関ヶ原町、滋賀県米原市にまたがり、この山から吹く冷たい風「伊吹おろし」は人々を震え上がらせる。  
そんな荒ぶる神がいた伊吹山山頂に日本武尊の像があると聞き、



関ヶ原町が起点の伊吹山ドライブウェイ（全長17㍎）に車を走らせた。終点のスカイテラス駐車場（米原市）から急勾配の階段を上がるが、運動不足の記者にはきつい。上り始めて約20分。山頂には多くの登山愛好家がいる。山頂を吹き抜ける心地よい風を体で感じている。胸の鼓動も

## 日本武尊ゆかりの霊峰

さまり、周囲を見回すと日本武尊の像があった。その視線の先には滋賀県の町並みとともに琵琶湖があった。

1927年、伊吹山の神は荒れ狂った。現在では定かではないが、その当時、観測された積雪量は世界一となる11・82㍎を記録したといい、自然の厳しさを教えている。現在の伊吹山は登山道も整備さ



### 若者は「恋人の聖地」

メモ 霊峰伊吹山はパワースポットとしても注目され、伊吹山ドライブウェイは若者たちの間で「恋人の聖地」として知られる。スカイテラス駐車場にある恋慕観音像は恋愛成就のご利益があるとわれ、カップルが付けたハートロックキーが並んでいる。駐車場には展望階段のほか、ジュース、ソフトクリームなどを販売しているコーナーもあり、23種の菓草を練り込んだ菓草ソフトは絶品。

れ、多くの登山愛好家も、何を思うのか、聞が山を楽しむ。この様子、何を思うのか、聞いてみたくなった。  
子を日本武尊は何を感じ  
【渡辺隆文】

日本武尊の像の横に立つ記者（右）  
—滋賀県米原市で